

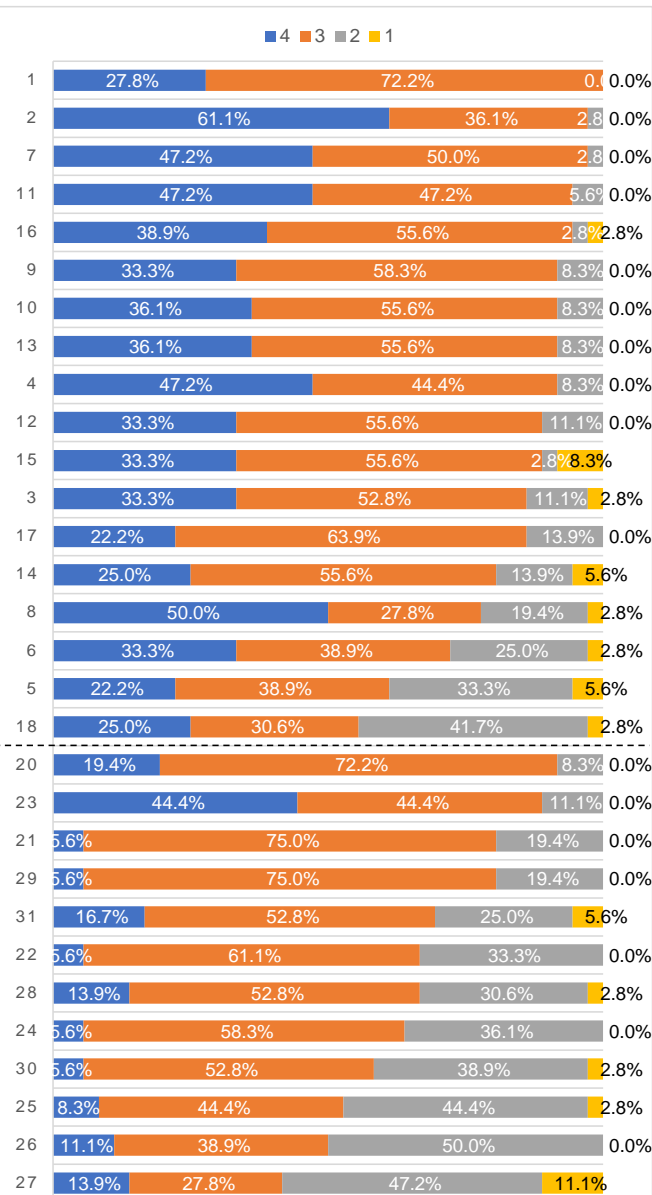
F ! %%

'¼ › μ Û yß±• x-ïòÆô{¼ › μ^Hyß±• x-ïòÆô

¼	4	3	2	1	û/
1	10	26	0	0	36
2	22	13	1	0	36
7	17	18	1	0	36
11	17	17	2	0	36
16	14	20	1	1	36
9	12	21	3	0	36
10	13	20	3	0	36
13	13	20	3	0	36
4	17	16	3	0	36
12	12	20	4	0	36
15	12	20	1	3	36
3	12	19	4	1	36
17	8	23	5	0	36
14	9	20	5	2	36
8	18	10	7	1	36
6	12	14	9	1	36
5	8	14	12	2	36
18	9	11	15	1	36
20	7	26	3	0	36
23	16	16	4	0	36
21	2	27	7	0	36
29	2	27	7	0	36
31	6	19	9	2	36
22	2	22	12	0	36
28	5	19	11	1	36
24	2	21	13	0	36
30	2	19	14	1	36
25	3	16	16	1	36
26	4	14	18	0	36
27	5	10	17	4	36

ïðëÄü

4	3	2	1	¶
27.8%	72.2%	0.0%	0.0%	100.0%
61.1%	36.1%	2.8%	0.0%	97.2%
47.2%	50.0%	2.8%	0.0%	97.2%
47.2%	47.2%	5.6%	0.0%	94.4%
38.9%	55.6%	2.8%	2.8%	94.4%
33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	91.7%
36.1%	55.6%	8.3%	0.0%	91.7%
47.2%	44.4%	8.3%	0.0%	91.7%
33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	88.9%
33.3%	55.6%	2.8%	8.3%	88.9%
33.3%	52.8%	11.1%	2.8%	86.1%
22.2%	63.9%	13.9%	0.0%	86.1%
25.0%	55.6%	13.9%	5.6%	80.6%
50.0%	27.8%	19.4%	2.8%	77.8%
33.3%	38.9%	25.0%	2.8%	72.2%
22.2%	38.9%	33.3%	5.6%	61.1%
25.0%	30.6%	41.7%	2.8%	55.6%
19.4%	72.2%	8.3%	0.0%	91.7%
44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	88.9%
5.6%	75.0%	19.4%	0.0%	80.6%
5.6%	75.0%	19.4%	0.0%	80.6%
16.7%	52.8%	25.0%	5.6%	69.4%
5.6%	61.1%	33.3%	0.0%	66.7%
13.9%	52.8%	30.6%	2.8%	66.7%
5.6%	58.3%	36.1%	0.0%	63.9%
5.6%	52.8%	38.9%	2.8%	58.3%
8.3%	44.4%	44.4%	2.8%	52.8%
11.1%	38.9%	50.0%	0.0%	50.0%
13.9%	27.8%	47.2%	11.1%	41.7%



·-é 4M"ZMqz%- 3MkOjOMqz%-
2MM%•Mqz%"uO 1M†sžtMqz%"uO

¼	F * " +
1	•/M*ñ% †b4) B †% æKM*ñq·†Ž6äKZ8• 100.0%
2	•/b !-!ï8o[6• i6ë†ò• bæ_"uZ8• 100.0%
7	5 [cæ_2†dμi5•K f?•5 b2¶_"uZ8• 100.0%
11	!ó!>i8Lub•!75Fbv) †œWZ8• 100.0%
16)rœ\$X^Û*fbi6ëc 0£#i\$X_ <KZ8• 100.0%
9	-â\$X8¼ubÛ(iYC~ 5 YC~_"uZ8• 100.0%
10	5 x1Vq·[#Ö•b 8!†1u0u• :"uZ8• 94.7%
13	æ_b)4#2(q\KZ81/x#Ö•æ_b0*6†vWZ8• 94.7%
4	•/b !-!ï8o[6• 68IXi°C<Ä bæ_"uZ8• 94.7%
12	#Ö•æ_6öKZc '30#•0Ž\!30 2¶†-1'KZ/œWZ8• 89.5%
15	Ûqb i6ëc 0£#i\$X_ <KZ8• 94.7%
3	•/b !-!ï8o[6• ë2iZ#.Z8{ bæ_"uZ8• 89.5%
17	-1*... \c #Ö•b%&1/¼ [¼3M_4)! @v€•66€[6• 84.2%
14	4("b5 [cYc*f<•8†0¿E 0£#i\$X_ <KZ8• 73.7%
8	¥8m?} ' \$x_>G>A>R μ††q#YK5 2¶†œWZ8• 73.7%
6	5 5•bS ub ¶6ä5 5 g0{† \$x_ /œWZ8• 47.4%
5	\$! /KS} +z\$X_+zÛf@ [A•7°V¼c[AZ8• 52.6%
18	4Šq8ªe\KZ' \$x_4Šq_6öf~ #Ö•bz/óñB_"uZ8• 68.4%
20	#Ö•c ¥ bÛ/#Öqt&K‡[8• 84.2%
23	#Ö•c Û//œ!_' \$x_#giKZ8• 100.0%
21	#Ö•b+rk*ï ¶@9xrWZ8• 63.2%
29	#Ö•c z/\$x_5_gKZ8• 73.7%
31	#Ö•c 4Šq_.' \$x_g•KZ8• >&4Šq8ªe @G'A>' 89.5%
22	#Ö•b+rk w#Y ¶@9xrWZ8• 68.4%
28	#Ö•c ÈÛμ@x" μÉ±- Ò† \$x_q#YKZ8• 57.9%
24	#Ö•c i6ë†ò• @ [AZ8• 63.2%
30	#Ö•c 4("b5 '¼†\>KZÇ'-1'@9xrWZ8• 52.6%
25	#Ö•c ë2iZ#.Z8{ @ [AZ8• 57.9%
26	#Ö•c 68IXi°C<Ä @ [AZ8• 21.1%
27	#Ö•c ... b+rzÛf@ [AZ8• 31.6%

R6. 学校評価（11月）考察

糸満市立西崎中学校

本考察は、各種アンケートでの肯定的回答（よくあてはまる、だいたいあてはまる）の割合を基に、関係する項目ごとに比較・検討したものです。この結果を基に次年度検討を行っております。

○：肯定的回答が8割以上、▲肯定的回答が8割以下

1 学校生活について

[職員用]

- 「20. 生徒は日々の学校生活を楽しんでいる」(91.7%)
- 「23. 生徒は学校行事に積極的に参画している」(88.9%)

[生徒用]

- 「21. 学校には話し相手になってくれる友達がいる」(95.3%)
- 「19. いろいろな学校行事に積極的に取り組んでいる」(87.1%)
- 「18. 日々の学校生活は楽しい」(82.1%)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(1)

生徒は学校行事に積極的に参画し、取り組んでいる様子が見られる。ただ、生徒アンケートの「学校生活が楽しい」と答えた割合が8割程度しかいないことから、5人に1人は不満に思っていることを受けた対応が必要と考える。

2 凡事徹底事項について

[職員用]

- 「02. 本校の凡事徹底事項である【時間を守る】の指導に努めている」(97.2%)
- 「04. 本校の凡事徹底事項である【あいさつ・聞く姿勢】の指導に努めている」(91.7%)
- 「03. 本校の凡事徹底事項である【清掃・整理整頓】の指導に努めている」(86.1%)
- ▲「24. 生徒は【時間を守る】ができています」(63.9%)
- ▲「25. 生徒は【清掃・整理整頓】ができています」(52.8%)
- ▲「26. 生徒は【あいさつ・聞く姿勢】ができています」(50.0%)

[生徒用]

- 「24. 凡事徹底事項である【あいさつ・聞く姿勢】が身についている」(95.3%)
- 「23. 凡事徹底事項である【清掃・整理整頓】が身についている」(94.8%)
- 「22. 凡事徹底事項である【時間を守る】が身についている」(94.0%)
- 「27. 授業中の聞く態度や座る姿勢ができています」(86.8%)

[保護者用]

- 「24. 家庭では、基本的な生活習慣(あいさつ・手伝い・時間のけじめ)を教えている」(90.6%)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(1)③

凡事徹底事項に対する職員と生徒との認識に差がある。生徒に対してなぜ凡事徹底事項を守る必要があるのかを学期当初に定期的に説明していく必要がある。(強化旬間などの設定)
参考資料:「家庭と学校と社会はつながっているよ」「学び方の基本と授業のルール」など

3 支持的風土づくりについて

[職員用]

- 「09. 支持的風土づくりに努めている」(91.7%)

[生徒用]

- 「09. 先生は、生徒とのきまりや約束ごとをよく守ってくれる」(89.1%)
- 「08. 先生は、気軽に声をかけたり、相談にのってくれる」(86.1%)

▲「12. 学校や授業では、失敗しても大丈夫な雰囲気がある」(78.9%)

[保護者用]

- 「08. 学校は、子どもを心豊かで思いやりがある子に育てようとしている」(85.2%)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(2)

支持的風土の醸成には、全ての生徒が「安心」でき、多様な集団「所属」の中で活躍でき、努力や成長を「承認」されることで自己理解を深め、自分の良さや可能性を生かした「自立」に向けた取組の充実が必要となる。

アンケートの結果で、生徒の「失敗しても大丈夫な雰囲気がある」ことの回答が低いことから、もう一度支持的風土づくりの4つのポイントの具体的な取組を再確認する。特に、生徒に色々なチャレンジを促し、それを讃え励ます取組も必要である。(例：検定への挑戦、各行事で主体的に活動する生徒への声掛け等)

4 自己肯定感・自己有用感について

[職員用]

- 「10. 生徒のよい点を認め褒める」(91.7%)
- 「21. 生徒の自己肯定感の高まり」(80.6%)

▲「22. 生徒の自己有用感の高まり」(66.7%)

[生徒用]

- 「02. 先生は、授業で生徒ががんばったときほめてくれる」(88.3%)
- 「15. 自分にはよいところがあると思う」(81.4%)

▲「16. 自分は周りの人の役にたっていると思う」(64.0%)

[保護者用]

- 「18. 子どもは、自分にはよいところがあると思っている」(90.6%)
- 「13. 先生は、子どものがんばったことや良い面をほめてくれる」(92.1%)

▲「19. 子どもは、自分は人の役に立っていると思っている」(82.8%)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(6)

生徒の良い点を認め褒めることについてはある程度の成果が出ていると思われる。但し、生徒自身が自分には良いところがあると感じていない生徒が5人に1人いることや自己有用感を感じていない生徒が5人に2人いることは大きな課題である。

生徒会各種委員会の主体的な活動やそれと連動した学級活動を活性化していき、生徒が活躍する場面を多く設定していく必要がある。特に、日頃の学級での係活動、給食、清掃等を真面目に役割と責任を持って取り組んでいる生徒を認め、褒めるなどの職員の見取りと声かけが大切である。

5 キャリア教育について

[職員用]

- 「15. 学活の時間は、計画的に実施している」(88.9%)

[生徒用]

- 「07. 学活の時間に、将来の生き方等の進路学習が行われている」(86.6%)

▲「17. 将来の夢や希望を持っている」(76.9%)

[保護者用]

- 「06. 学校は、将来の進路について指導を行っている」(83.3%)

▲「20. 子どもは、将来の夢や希望を持っている」(74.4%)

▲ 職場見学や職場体験を行ってほしい。(記述)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(4)

生徒や保護者の回答で「将来の夢や希望を持っている」と肯定的に回答した割合が低いことは大きな課題である。本校の実態に沿ったキャリア教育のねらい(自分らしい生き方を追求する、社会貢献等)を再確認し、教職員での共通理解が必要である。入試などの進路指導や体験活動のみだけでなく、将来の夢や希望が持てるような総合的な学習の時間の取組やキャリア・パスポートの活用を進めるなど、基礎的・汎用的能力(かふやみ)を身に付けさせていく必要がある。

6 道徳・人権教育について

[職員用]

▲「30. 生徒は、道徳の授業を通して人権意識が高まっている」(58.3%)

[生徒用]

- 「06. 道徳の授業は深く考える場面がある」(91.6%)

- 「29. 自分の人権意識(いじめ防止、多様な個性を認める等)は高まっている」(94.8%)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(1)①(4)③

ローテーション授業も含めた道徳の授業改善やいじめ防止ガイダンス、人権の日の取組などの成果が生徒の人権意識の向上等につながっていると思われる。しかし、職員からみた生徒の人権意識はまだまだ低い状況のため、継続的な指導が必要である。また、できるだけ多くの大人や社会人の話を聞くなど、多様な年齢層・職種・体験に触れる講演会等を計画に入れていく。

7 授業に関する項目について

[職員用]

- 「29. 生徒は主体的に授業に参加している」 (80.6%)

[生徒用]

- 「05. 授業では、主体的に活動する学習や実験、観察などの時間がある」 (94.5%)

- 「28. どの授業にも集中して、積極的に参加している」 (88.8%)

▲ 「20. 授業はよく理解できる」 (73.9%)

▲ 静かに学習できるような環境を作ってほしい。(授業中のルールの明確化、席替え) (記述)

▲ 勉強が難しいので、わかりやすい授業を実施してほしい。(記述)

[保護者用]

- 「07. 先生は、子どもの学力や努力を適切・公平に評価している」 (87.7%)

▲ 「05. 学校では子どもたちにわかりやすく工夫して学習指導をしている」 (79.3%)

▲ 子供の学習意欲と成績: グループ学習での評価の公平性、個別指導の必要性、小テストの実施、うるさい生徒への対応など、子供の学習意欲を維持し、成績向上を望む声が多い。(記述)

[比較・検討] 学級経営方針 2 重点取組事項 (3)

生徒が「授業はよく理解できる」の肯定的回答が低いことが保護者の回答に影響していると考えられる。また、生徒や保護者の記述から静かに学習できるような環境整備や評価の公平性などの意見も見られた。授業中のルールの明確化や指導と評価の一体化を目指した丁寧な対応が必要である。(学習規律、学び方の基本と授業のルールを前面に出した取組)

8 校内研修に関する項目について

[職員用]

- 「07. 授業では指導法を工夫・改善し、わかる授業の実践に努めている」 (97.2%)

- 「14. 道徳の授業では深く考える場面を設け、計画的に実施している」 (80.6%)

▲ 「08. 日頃から、積極的に ICT 機器を活用した授業実践を行っている」 (77.8%)

▲ 「06. 授業改善のための公開授業、授業参観を積極的に行っている」 (73.2%)

[生徒用]

- 「13. 先生は、授業で chromebook などの ICT 機器を積極的に使っている」 (95.8%)

- 「01. 先生は、授業で教え方を工夫し、わかりやすく教えてくれる」 (92.6%)

- 「03. 先生は、授業で考えをまとめさせたり発表させたりしている」 (91.8%)

[比較・検討] 学級経営方針 2 重点取組事項 (3)

今年度からロイロノートの活用に焦点化して実施してきたことで成果と課題が明確化してきた。また、来年度からスタートする新しい県学力向上推進施策「自立した学習者」育成プロジェクト(推進期間: 令和7~9年度)を踏まえ、「子供の姿に基づく授業改善」に係る取組を推進していく必要もある。今年度の校内研修のテーマは引き継ぎ、各教科の指導法改善につとめながらも、ICT機器の活用も進めていく必要がある。

※本校の西崎レベルアップメソッドや授業の基本型など、教職員アンケートを実施して再点検した方がよい。

9 朝の早登校および自主学習について

[職員用]

▲「05. 登校したら自主的に自主学習ができる雰囲気はできている」(61.1%↑)

▲「27. 生徒は朝の自主学習ができている」(41.7%↑)

[生徒用]

▲「25. 8:15 までに登校し、朝の自主学習を積極的にやっている」(53.8%↓)

[保護者用]

▲「21. 子どもは、学校へ 8:15 までに登校できている」(65.0%↓)

[比較・検討] 学級経営方針 2 重点取組事項 (4) ②

関連する質問で、職員の意識が1学期と比較して向上しているが、生徒と保護者の意識は下がっている。朝の早登校や自主学習の意義などを生徒や保護者に伝えながら、奨励して推進していく取組を考える必要がある。例えば、朝の時間や給食準備時間、昼休みなどの隙間時間の上手な使い方を紹介するなど、雰囲気や学級環境づくりに努めるなどが考えられる。

※教職員アンケートを実施して再点検した方がよい。

10 ブラッシュアップタイムについて

[職員用]

▲「28. 生徒はブラッシュアップタイムを積極的に活用している」(66.7%)

▲ ブラッシュアップタイムの取組の見直しをしてほしい。(記述)

[生徒用]

○「26. ブラッシュアップタイムを積極的に活用している」(86.1%)

[比較・検討] 学級経営方針 2 重点取組事項 (4) ②

これまで学力向上の取組としてブラッシュアップタイムの取組を行ってきたが、職員アンケートを実施するなど成果と課題を見出し、見直しを行っていく必要がある。

※教職員アンケートを実施して再点検した方がよい。

11 家庭学習について

[生徒用]

▲「31. 家庭学習(塾を含む)は、毎日きちんと行っている」(71.2%↑)

[保護者用]

▲「23. 子どもは、学校の宿題や家庭学習を計画的に取り組んでいる」(60.6%↑)

[比較・検討] 学級経営方針 2 重点取組事項 (4) ②

家庭学習の取組については、本校の課題となっているが、学力向上推進の取組もあって、1学期よりも数値が上昇している。今年度の成果と課題を明確にして、タブドリの活用も含め、次年度に繋げる必要がある。

※教職員アンケートを実施して再点検した方がよい。

12 生徒指導体制について

[職員用]

- 「11. 事件・事故・いじめの未然防止の取組を行っている」 (94.4%)
- 「13. 指導の経過資料として、面談や生徒指導の記録を取っている」 (91.7%)
- 「12. 生徒指導に関しては、共通理解と共通実践を意識して行っている」 (88.9%)
- ▲ 教職員間の連携不足 (指導方針の統一が不十分、負担の偏り、情報共有の不足) (記述)
- ▲ 生徒指導の難しさ (ルール遵守の意識が低い生徒への対応、SNSトラブルの増加、生徒の成長に合わせた指導の難しさ、身なり点検が少ない) (記述)

[生徒用]

- 「04. 先生は、命の大切さや社会のルールについてよく教えてくれる」 (95.0%)
- 「10. 先生は、生徒の間違った行動や悪い行動を適切に指導してくれる」 (94.5%)
- ▲ 体育着登校について安全面や衛生面を考慮した上で検討してほしい。(記述)

[保護者用]

- 「11. 先生は、子どもを理解し人権を尊重する姿勢で指導に当たっている」 (87.7%)
- 「10. 先生は、子どもの間違った行動や不正な行動を指導してくれる」 (87.2%)
- ▲ 体育着登校について安全面や衛生面を考慮した上で検討してほしい。(記述)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(1)(2)(6)

生徒指導関連の質問への肯定的回答は高いが、職員の記述からは教職員間の連携不足や生徒指導の難しさを指摘する回答があった。指導方針を再確認し、全職員で取り組む必要がある。また、生徒や保護者からは体育着登校の要望も多いことから、なぜ体育着登校の希望が多いのかを把握し、制服を着用する意義をしっかりと理解させたいうで、生徒会を中心とした校則の見直しを行えるような計画が必要である。

13 部活動について

[職員用]

- ▲ 「18. 部活顧問として、積極的に部活動に関わり、生徒の主体性育成に努めている」 (55.6%)
- ▲ 「31. 生徒は、部活動に積極的に参加している」 (69.4%)
- ▲ 働き方に対する不満 (偏った職員への負担増) (記述)

[生徒用]

- 「30. 部活動に積極的に参加している」 (87.2%)

[保護者用]

- 「16. 学校の部活動は、子どもの体力増進や人間関係づくりに取り組んでいる」 (94.1%)
- ▲ 冬は暗くなるのが早いので早めに終わってほしい。(記述)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(7)(9)

生徒や保護者の質問については肯定的回答が高かったが、職員の質問では低い結果となった。生徒が主体的に部活動に参加できるようにキャプテン会を定期的の実施したり、部顧問会を活性化することで偏った職員への負担軽減や部活指導の見直しをしていく必要がある。

また、部活動の地域移行化も踏まえて、積極的な外部コーチの導入を検討していく。

14 学校の環境整備・修繕について

[生徒用]

- ▲ 「11. 教室のこわれた所など学校の施設・設備はすぐに修理されている」 (52.4%)
- ▲ トイレのにおい、清掃の徹底をしてほしい。(記述)
- ▲ 扇風機や冷房設備、トイレ、冷水機等の施設の修理をしてほしい。(記述)

[保護者用]

- 「14. 学校は、校内美化に努め施設設備の整備を行い、事故防止に努めている」 (88.7%)
- ▲ 部活動やPTAを活用したグラウンドやテニスコート、裏門周辺等の整備をしてほしい。(記述)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(2)④

施設の老朽化と学校の修繕費の予算の関係で、施設・設備の修理等が追いついていない状況である。教育委員会とも相談と連携を密にし、環境整備を行っていく必要がある。

また、運動場や学校周辺の環境整備については、PTAや地域の方の協力が得られるよう情報発信を行っていく必要がある。

15 避難訓練について

[保護者用]

- 「15. 学校は、台風や災害、不審者などの対応について子どもたちに指導している」 (95.1%)
- ▲ 津波の避難訓練をもっとやってほしい。避難場所を保護者にも周知してほしい。(記述)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(7)

今年度、津波の避難訓練を屋上に回避する垂直避難から、潮平中学校や南山病院まで歩いて避難するよう変更を行った。教育計画の修正や保護者への周知の徹底を行っていく必要がある。

また、本校では、年3回の避難訓練(火災、地震、不審者)を行っているが、次年度はどうか検討が必要である。

16 保護者への連絡および連携について

[職員用]

- 「17. 保護者とは生徒の相談等で気軽に連絡がとれる関係である」 (86.1%)

[保護者用]

- 「03. 学校は、外部の人を迎え入れる雰囲気があり、気軽にいける場所である」 (89.2%)
- 「04. 学校は、学級、学校や子どもの様子等を家庭に連絡したり、情報提供をしている」 (86.7%)
- ▲ 「12. 学校は、子どものことについて気軽に相談できる」 (79.8%)
- ▲ 「22. 子どもは、学校からのお便りや連絡を届けてくれる」 (65.0%)
- ▲ 気軽に先生に相談や連携できるツールがほしい。(記述)

[比較・検討] 学級経営方針 2重点取組事項(8)

今年度は学校だよりや学年だより、各種通信、マチコミによるタイムラインなど、情報発信を積極的に行ったため、保護者からの肯定的回答が高かった。ただ、一方的な情報発信のため、保護者からの定期的な意見の集約や双方向で連携が取れるツールの導入が必要である。

17 授業参観（社会に開かれた教育課程）について

[保護者用]

- 「02. 学校は、保護者が授業参観する機会を設けている」 (95.6%)
- 「09. 学校行事は、保護者が参加できるように工夫されている」 (94.1%)

▲ 年間行事に授業参観日を設けてほしい。(記述)

[比較・検討] 学級経営方針 2 重点取組事項 (8)

コロナ禍の影響もあり、授業参観はスポレク、西中祭、糸満市教育の日の3回しか設定していなかったが、保護者に積極的に学校へ足を運んでもらうために、次年度からは毎月1回の平日授業参観の設定を行っていく。

18 PTA 活動について

[保護者用]

- 「17. PTA 活動は活発である」 (87.7%)

▲ 「25. 学級 PTA、授業参観、PTA 作業などに参加している」 (65.5%)

[比較・検討] 学級経営方針 2 重点取組事項 (8)

コロナ禍の影響もあり、PTA 活動が低迷していたが、ここ数年で持ち直してきている。但し、部活動の保護者会に頼っている部分が多く、PTA の専門部の活動の充実が必要である。また、保護者が気軽に学校へ足を運び、学校へ参画できる仕組みづくりも必要である。そのために、学校運営協議会と PTA との連携を密にしていく。

19 その他

[職員からの要望]

- 職員専用のトイレにしてほしい。
- 特別支援学級の時間割を学校全体で取り組んでほしい。
- 各種委員会活動は諸活動の時間だけでは厳しい。(5校時か特別日課の設定)
- SPES の副担任の設定、二人体制

[保護者からの要望]

- 学校行事の質を上げてほしい。(合唱コンクール)
- 正門前の掲示物が部活動の実績のみとなっているのが寂しい。それ以外で頑張っている生徒も掲示してほしい。